

# 假面劇



## 言ひ易く行ひは如何

大都市交通機關綜合統制の計畫として半官半民の一大會社を設立するとか交通機關の賃金を統一するとか鐵相の經綸の一大綱目として傳へられて居る。果して然るか統制々々何にも彼も統制するを要するが如く認められては男も女も統制せられなければ風俗秩序の維持は困難であると言はなければならぬ。されど大都市内の交通統制は魚眉の急務であることは吾曹も夙に痛感しておる處で大阪であれ、東京であれ、不統一極まるもので之が爲めに利用者は其不便不利を感じて居る。故に鐵相の着眼點には尤も共鳴するものであるが其經綸は恐らく實

現不可能であらう。第一東京市内で見ても鐵道省營電車の乗車賃率が山手循環線と中央線又は赤羽櫻木町間では著しく相異なつて居る。又市内バスの運轉系統や乗車賃も經營者の異なるに従つて相異がある、而かも市電の如きは市内乗車賃の均一制を嚴守する爲め經營難を惹起し乗客も亦不利な點がある、此年來の方針を抛棄するの勇ありや否や監督官廳に對しての疑問である。而かも省營と同一率に律することは一大至難である。尙且つ市内電車との連絡又は定期券發行の如き從來鐵道省の同意を得ざる爲めに市電に取つては忍從今日に及んで居るとも灰聞して居る。鐵相の統制具體案は果して如何なるものぞ言ひ易くして行ひ難き

注 本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の投稿を望む、一文四百字位にて取捨は編輯手に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

は人間社會の常事である、獨のヒツトラいですら統制一天張は抛棄することとなつたと海外雀の喩である、鐵相の自信那邊に存するにや(廣志生)

## 交通のいろく

電車内で他人に迷惑を感じしむることは随分澤山ある。魚屋の放臭は鼻が痛くなる胸がむかつく、軍人の長劍の尖と拍車はキツト皮でなくとも靴に穴をあけらるゝ憂がある、出入口に立ち塞る者の爲めには出入の防げは勿論時に風上から臭いわれぬ臭が来る、一人の母親が五六人の子供をつれ込むと座はふさがり泣き聲は耳を聳する、一人で持ちあつかひ難い程の荷物や背に負

ふ大型の箱には眼鏡は落さるゝ肩や背はイヤと云ふ程度につきあてらるる、カンパスや刺繡傘ではムソ痒い感を興へらるる、泥酔者の熱柿の息は目まいを催す、車中に在つての處案内は混雑を惹き起す。何んと電車内のエゴイズムの多いことよ。道路の通行でも牛に徐行せよと命ずる規定（道路取締令第七條第一項四ノ二）があるが牛に除行は如何な方法を執るべきか、牛馬の奔逸を防ぐ爲めに電信柱や電話柱には繋いでもよいか（同令第十一條）自轉車の歩道通行は危険であるが之を取締る必要はないか、沿道の土地に物を推積し又は立て置くと共に限り其倒壊崩落を防ぐ装置を要するにや道路に倒壊崩落を防がしむることが道路取締令の規定すべき所であらねばならぬだが道路取締令第二十條の規定は如何、兒童幼兒の路面に於ける遊戯は危険であるが保護者の責任は積極的行爲として遊戯を爲さしめれば兒童等が獨自に遊戯するも何等の義務は生ぜざるにや（道路取締令第二十五條）

### 眞晝の提灯持ちか

あるわゝ疑問百出不快千萬交通亂る去つて無道の國に往かんかなである（失職放士）

某黨の一首領は五、一五事件を評して曰く海軍の公判には二つの對立がある一は働機はよいが行爲が非であるから極刑に處すべきであると云ふ檢察官一は政黨財閥特權階級の腐敗して民を苦しめ軍縮など國を危ふすることに對しての國民の正當防衛であるから之は寛恕せねばならぬと云ふ辯護人の主張であるが法の權威はまぐることが出来ぬ涙をふるつて嚴正法を適用すべきである、乍去被告等が政黨的政治を呪詛する陳述をして居るが非常時局に於ては特に政黨政治でなければならぬと語つて居る。一は正しき認識で一は正しからざる認識の二つが此政治家の意識中に對立して居ると思ふ。政黨政治が暗々裡に國民を重壓する專制政治に對しては時に公明正大な政治を行ふものであることは誤りなきも今日我邦の

政黨に公明正大な政治を行ふ資格ありやなしやは國民として一大疑問を投げかけて居るのであるから非常時局に政黨政治が必要であるとは正しからざる認識である、他の正しき認識とは國法を楯に革命を排して、あくまでも直接行動を斥け法の嚴守に依つて國の安寧秩序を維持し依つて以て國家の進展と國民生活の安定を期すべきである「權威に屈せず世俗に迎合せず、一向に法を護らんとする一大決意から毅然として所信を表明した」といふ檢察官に同意したるは正しき認識である、國民皆な泣く五、一五事件とか至誠熱情の發露とか義憤竝に至るとか善惡の鬭争であるとか道義の華であるととか忠孝の顯揚だとか國士の表現だとか唯被告遠の動機精神にのみ重點を置き其行爲を賞揚是認すれば或は將來國家を危機に導くにあらずやとの懸念は少しも顧みざる爲めに無心な辨別心の乏しき幼少年等をして減刑運動に關係せしむるに至らしめたのは餘りに輕舉にあらざるか固より罪を惡

み人を惡まざるべきであるが一時の感情に動かされ世を憤慨し痛罵し抗撃する者もあるから國民皆泣くと云ふ感傷的記事に動かされ革命行動を是認するが如き疑あらしむるの言行は之を慎むの國風を作らねばならぬ、國憲は重んずべく國法は遵守せざるべからず、感情を超越し感傷的心理を克服することこそ世界に對して一大使命を負へる我國民の體度でなければならぬ雷同附加は非常時局に於て殊更らの禁物であると確信する(白羊生)

### 豊年の崇りか

北米合衆國近年の經濟行詰りは農村に於ての馬鈴薯の豊作は市場に搬出するも價格運送費をつぐなふに足らず爲めに腐敗の儘に委棄するの外なくなつて農村の窮乏は形容の言葉もなき状態であつたと是在米友人からの通信であつた、豊年の飢饉とは此の如き状態かと思つたが我邦に在つても亦同様の事實が発生した、去九月一日現在の内

地殘米が千七百十二萬五千百十石で更らに本年の豊作が豫想されて來た、米價は下向くの外はない。豊年の飢饉襲來か。農民救濟の法は如何にすべきか、國家補償の下に米の作付一割減反と云ふ案は其價値如何であるか、臺米鮮米に對する制限は如何政府の買上げは如何、米の新用途如何、米作に對する調節の人力乏しくして天を征服し能はざるか、米を食ふ人間が米の處置に窮して居る、米の農相を苦しむことの何ぞ甚しきや、豊年踊りも中止の外はない、豊年の崇りは如何なる原因ありての事か、「今年米親と言ふ字を拜みけり」と吟した俳人一茶を地下より呼び出し其の感想を聞きたいのである。(田吾作)

### 僕の目と耳

僕の目に映じて氣持をよくのした新聞記事は「歐洲各國の大衆の聲は何處にある？夫れはたゞ一語で盡きる、戰爭絶對反對といふことだ、兎に角彼等にはあの歐洲大戰

の血なまぐさい記憶がいまだに昨日の事實だとして強感させるものがある」との長岡駐佛大使の歸朝談である。乍去米、英の海軍擴張や露國の極東集兵などの記事を見ると軍縮會議も看板に過ぎない感がする、目にうつての喜悲こもごも斯くぞある。バイエルの主都ミュンヘンにあるドイチェス、ムゼウン、フォン、マンテルウエルケン、デア、ナツールウイスエン、シャフトウンドテクニクと云ふ博物館には主として土木、建築、鐵道、河門、港灣、電氣、化學、印刷、光學、音樂などありとあらゆるものを集めて、動くものは動かして見せる、此博物館に這入れば文明がどんな順序に發達し、どんな工合の現象にあるかが一目瞭然だと聞かされて氣持をよくした。大阪の道路大會で土木に關する大博物館でも設立する相談をされては如何。(木兎生)

× ×

× ×